

(別紙)

スマートシティリファレンスアーキテクチャ（ホワイトペーパー）及びスマートシティガイドブックの改訂における主な変更点の概要

1. スマートシティリファレンスアーキテクチャ（ホワイトペーパー）

①スマートシティガイドブックとの役割分担（全体）

令和3年4月に内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省より公開された「スマートシティガイドブック」の目的と書かれた内容を把握し、第2版では、スマートシティのアーキテクチャ（設計思想、設計方法、実現方式等）を各主体が決定していく際に参照するもの（リファレンスアーキテクチャ）という位置付けを明確にし、第1版に対して必要な更新を行った。

②用語及び定義の更新（第1章）

第1版においては5つの用語が定義されているが、第2版では、11の用語の意味や定義を説明した。第1版の5つの用語に対しては、「スマートシティガイドブック」における定義や、ISOやJIS、ITU等で定められた用語などを参照し更新を行った。

③スマートシティリファレンスアーキテクチャの解説（第2章）

第1版について「情報システムの専門家が読むものである」と解釈されている声が少なからずあることを踏まえ、スマートシティに取り組もうとするあらゆる人が読むものと理解していただけるように、スマートシティリファレンスアーキテクチャの意義について解説した。

④スマートシティ戦略の検討ステップ及びKPIの設定（第3章）

スマートシティ実現に向けた取組手順のうち、スマートシティ戦略に関わる「準備段階」、「計画（戦略）策定段階」を対象に具体的な検討ステップを提示した。また、スマートシティ施策におけるマネジメントサイクルにおいてKPIを設定し運用する具体的な方法について解説した。

⑤改正個人情報保護法への対応、ガバナンスルールの明確化（第4章）

スマートシティルールについては、個人情報保護法の改正（令和2年度改正及び令和3年度改正）を受け、個人情報保護条例や仮名加工情報、個人関連情報に関して見直しと追記を行った。また、扱うデータの高度化やスマートシティ推進組織の多様化・複雑化を背景に、より重要度が増しているガバナンスのルールについての記述を追加し、定めるべきルールの項目や考慮すべき観点についての解説を行うとともに、事例や参照すべき規約・ガイドライン等の見直しを行った。

⑥都市マネジメントにおけるスマートシティ推進組織における人材、ビジネスモデ

ル（第5章）

第1版では、スマートシティ推進組織を構成するステークホルダー、各ステークホルダーとなり得るプレイヤー、スマートシティ推進主体のように「組織」単位での記載であったが、これに加え、実際に組織を動かす人材に着目し、その人材像について解説した。

また、ビジネスモデルについては、第1版では、ビジネスモデル例を例示し具体事例による説明が中心であったが、ビジネスモデルを検討する切り口として、その費用負担の主な方法についても整理した。

⑦スマートシティサービスの類型化と地域分類との関係整理（第6章）

第1版では、スマートシティサービスの具体事例を紹介することに重点がおかれていたが、3年間が経過し、国内において非常に多くの事例が出てきたことから、各地に共通しやすい地域課題分野をあげ、分野別に主なスマートシティサービスを例示した。また、異なる分野間のデータ連携や異なる地域間のデータ連携により提供されるサービスについては、意義や実装イメージを解説した。さらに、典型的な地域類型別にスマートシティサービスの導入イメージを例示した。

⑧都市OS機能の説明の具体化（第7章）

都市OSについては、第1版においてかなり詳細に記載されていたが、その機能がより分かりやすくなるように、表現の見直しと追記を行った。特に、スマートシティの発展に伴う都市OSの利用機能の見える化などを実施した。

⑨事例の更新（全体）

第1版で紹介されている事例については、スマートシティリファレンスアーキテクチャでの記載内容の理解促進という観点で相応しいものを残し、令和5年1～2月時点の情報に更新した。また、同様の趣旨で相応しいと思われる新規の事例について追加した。

2. スマートシティガイドブック

①スマートシティリファレンスアーキテクチャ（ホワイトペーパー）の改定を踏まえた記載の充実

機能的、機動的な推進主体の構築において、スマートシティ推進に必要とされる人材に関する情報及びスマートシティ構築を先導する人材の人材育成プログラムの例を追記した。（本編）

都市OSの導入において、スマートシティサービスの検討方法に関する情報を追記した。（本編）

スマートシティを通じて導入される主なサービスについて、スマートシティの地域類型別導入イメージを追記した。（別冊①）

- ②スマートシティモデルプロジェクトからの知見集を踏まえた記載の充実
令和4年3月に国土交通省が取りまとめたスマートシティモデルプロジェクトからの知見集を踏まえ、スマートシティの進め方、進める上でのポイントと対応の考え方の全体について、事例を含め、記載を充実させた。(本編)
- ③スマートシティ施策のKPI設定指針(第2版)を踏まえた記載の充実
令和5年4月に内閣府が改訂したスマートシティ施策のKPI設定指針(第2版)を踏まえ、適切なプロジェクトの評価(KPI等)について記載を充実させた。(本編)
- ④その他
記載事項の時点修正のほか、掲載資料の整理を行った。(本編、別冊②)